

商品情報入力プログラム (v0.6) ユーザーマニュアル

13/09/12 (v0.6J) © 飯田善久

本プログラムは、UN/CEFACT 標準に従った、旅行商品情報を作成するプログラムである。プログラムをインストールしたら、パソコン単体で、旅行商品情報を作成することが出来る。

1. プログラムのインストール

- ① <http://www.jtrec.org/iida/productInstall.htm> にアクセスする。
- ② 表示された図1の画面の「Install Now」をクリックする。



- ③ AIR ランタイムがインストールされていない場合は、インストールの許可を求めてくるので、「はい」をクリックする。(すでに AIR ランタイムがインストールされていれば、図2が表示されずに図3が表示される)



図2



図 3

④ しばらくすると、図 3 の画面に変わるが、何もしないでいると図 4 の画面が開く。(Try Again をクリックしないこと)

⑤ 「このファイルを開く、または保存しますか？」の画面 (図 4) が開いたら「開く」をクリックする。

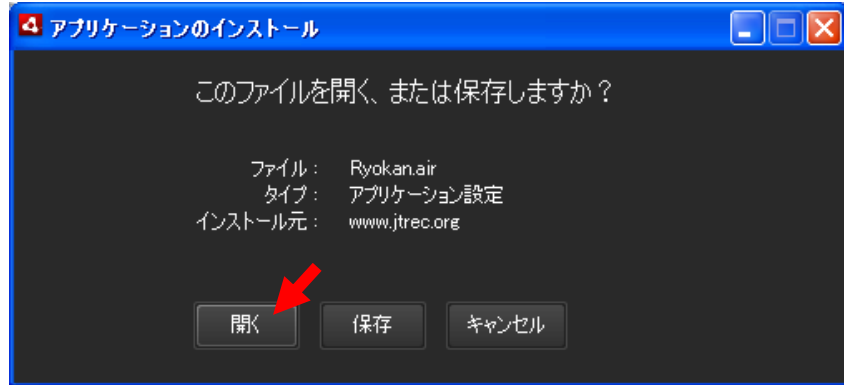


図 4

⑥ 「このアプリケーションをコンピュータにインストールしますか」の画面 (図 5) が開いたら「インストール」をクリックする。

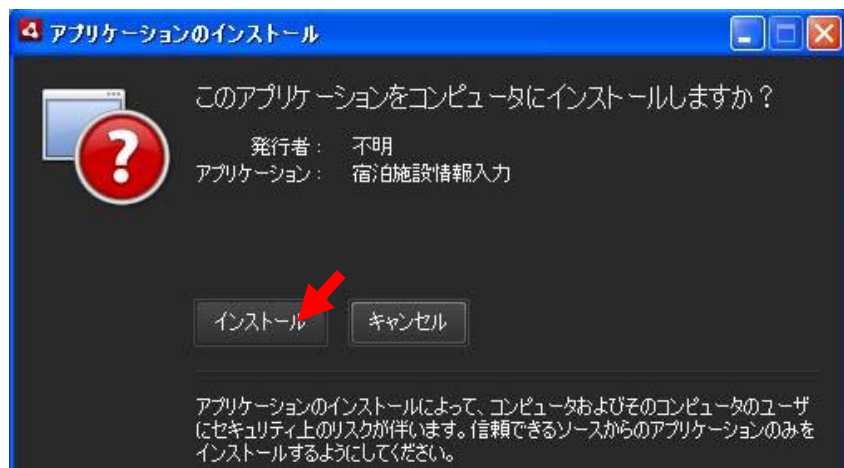


図 5

⑦ インストール先を聞かれたら、インストール先を入力し「続行」をクリックする。

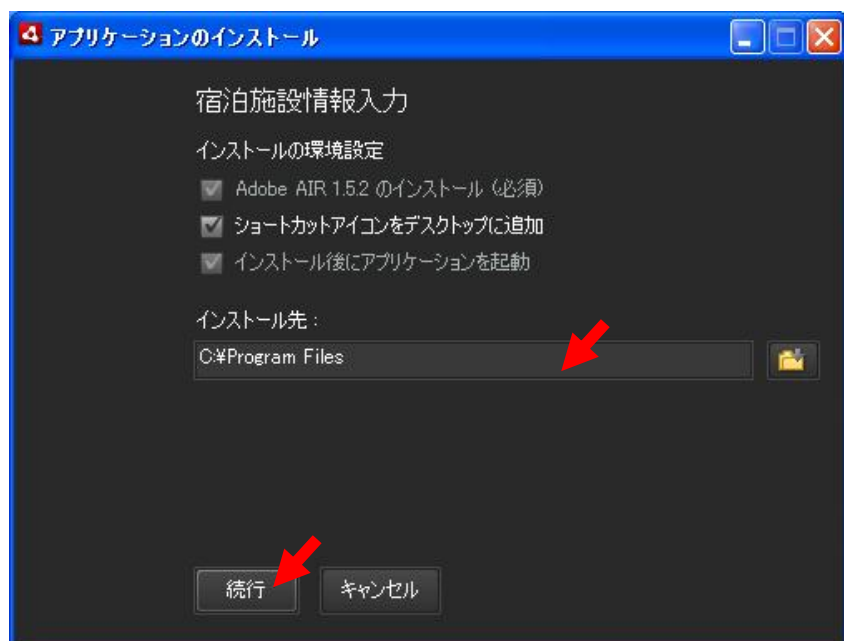


図 6

- ⑧ AIRの使用許諾を求められたら、許諾書を読んで「同意する」をクリックする。
- ⑨ インストールが完了すると、自動的に本プログラムが起動する。(適当なときに図1の画面をクローズする。



2. プログラムの起動と画面構成

- ① インストールされた本プログラムの起動は、デスクトップに作成されたアイコン(上図)をダブルクリックする。初期化中の画面が表示された後に、初期化が完了すると図7の画面が表示される。

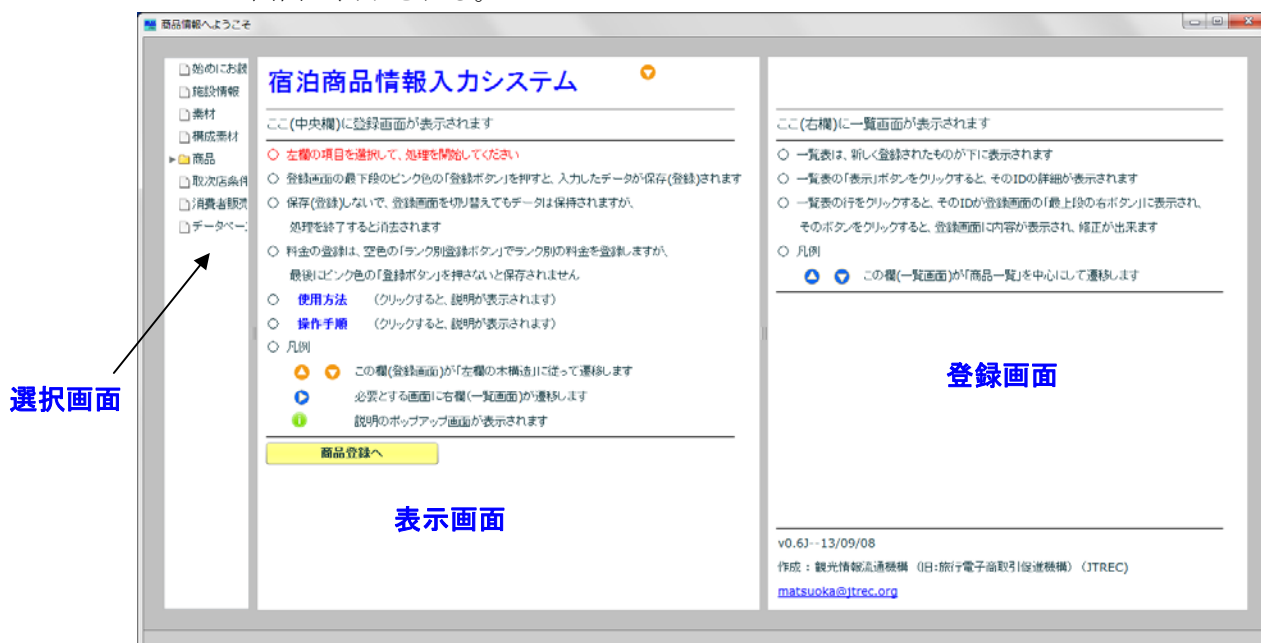


図7

- ② 図7左欄の木構造をクリックすると、中央欄と右欄に表示される画面が変更される。(左欄を以下「選択画面」と呼ぶ)
- ③ 中央欄には、情報を入力する画面が表示される。(以下「登録画面」と呼ぶ)
- ④ 右欄には、データベースに登録された結果が表示され、入力は出来ない。(以下「表示画面」と呼ぶ)

3. 操作手順

- 登録画面の切り替えは、選択画面の施設情報、素材、構成素材、商品等の項目をクリックすることにより行なえる。
- 各登録画面の最下段にある **ピンク色の登録ボタン** (図8 RE ボタン) をクリックするとデータベースに登録される。
- データベースに登録しないで登録画面を切り替えても、処理を終了しない限りデータは保持される。
- 登録しないで処理を終了するとデータは破棄されるので、次回起動した際には利用できない。

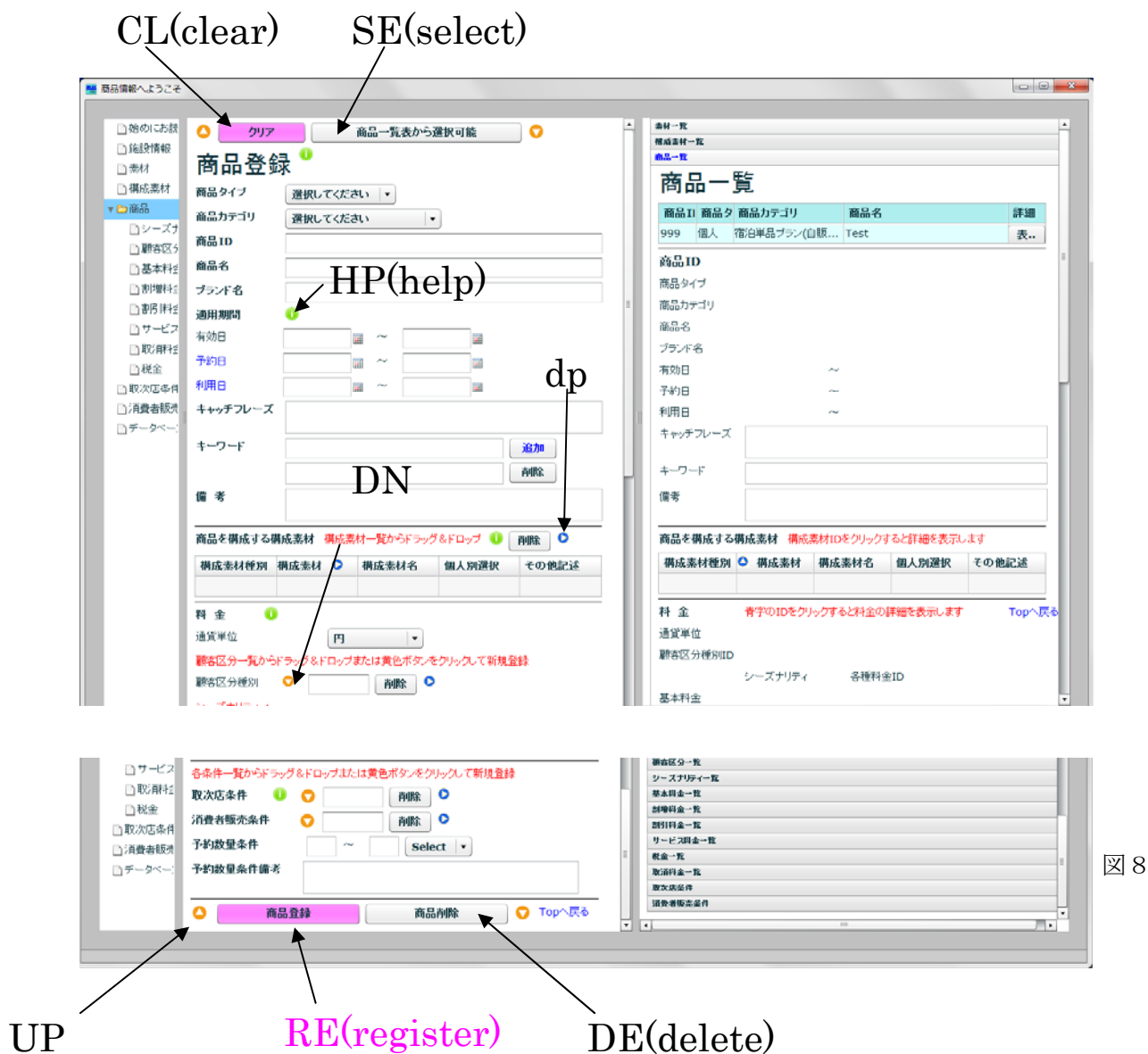


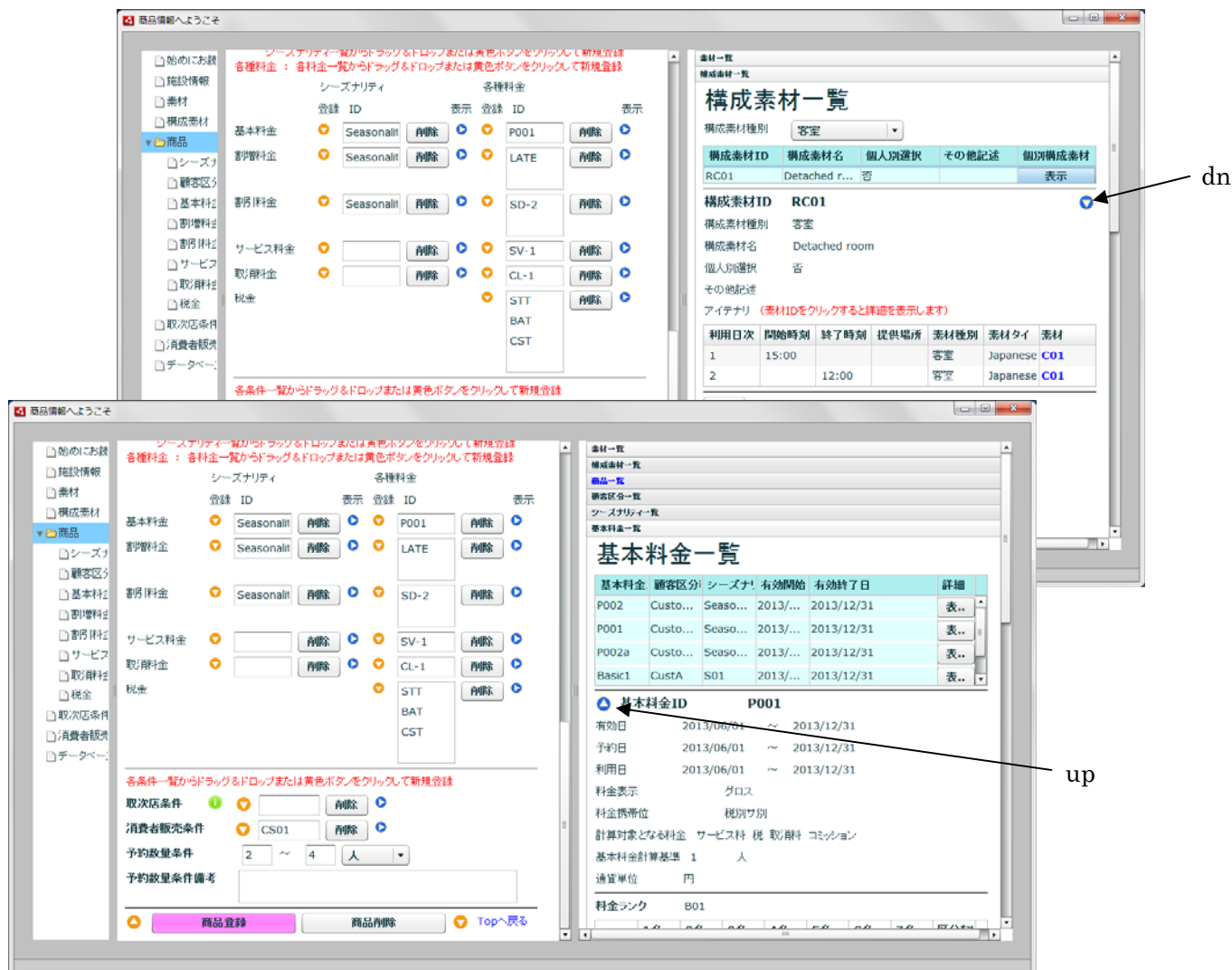
図 8



○ 登録画面に表示されるボタン

CL		最上段左に表示されるこのボタンをクリックすると、登録画面をクリアする。うっかり登録しないでクリアするのを防ぐために、確認画面が表示される。
SE		最上段右にこの表示が出ている場合は、表示画面の一覧表から選択することが出来る。選択すると下のボタンに変化する。(このボタンをクリックしても何も起きない)
		最上段右にこの表示が出ている場合は、このボタンをクリックすると、指定された ID(△△)のデータを登録画面に表示する。(表示後に、このデータを変更し登録できる)
DN		このボタンをクリックすると、登録画面が次のデータの画面に切り替わる。(「施設情報→素材→構成素材→商品→取次店条件→消費者販売条件」の順に変化する) 商品の登録画面では、このアイコンが表示されている場所により、適切な商品の子要素(シーズナリティ、顧客区分、各種料金)の登録画面に切り替わる。
UP		このボタンをクリックすると、登録画面が前のデータの画面に切り替わる。(「施設情報←素材←構成素材←商品←取次店条件←消費者販売条件」の順に変化する) 商品の子要素(シーズナリティ、顧客区分、各種料金)の画面では、常に商品に戻る。
dp		このボタンをクリックすると、表示画面が切り替わる。表示される画面は、このアイコンが表示されている場所により異なる。
HP		このボタンをクリックすると、データ入力に必要な情報がポップアップ・ウインドウに表示される。(ヘルプ機能)
RE		最下段左のこのボタンをクリックすると、入力したデータをデータベースに登録する。すでに同じ ID のデータが登録されている場合は、確認画面が出る。
DE		最下段右のこのボタンをクリックすると、登録されているデータを削除する。確認画面が出る。

- 登録画面の切り替えは、DN, UP ボタン以外に、選択画面の木構造をクリックしても行なえる

○ 表示画面に表示されるボタン



dn		素材表示画面のこのボタンをクリックすると、構成素材表示画面に進む。 構成素材表示画面のこのボタンをクリックすると、商品表示画面に進む。
up		商品の子要素(シーズンリティ、顧客区分、各種料金)の表示画面および販売店条件、消費者販売条件表示画面でこのボタンをクリックすると、商品表示画面に戻る。

- ・ 表示画面の切り替えは、dn, up, 登録画面の dp ボタン以外に、タブをクリックしても行なえる

以下、本マニュアルではボタンを示すのに、上記の略号を使用する。

3. 1 施設情報の登録

(1) 選択画面で「施設情報」をクリックして、登録画面に施設情報画面(図9)を表示する。

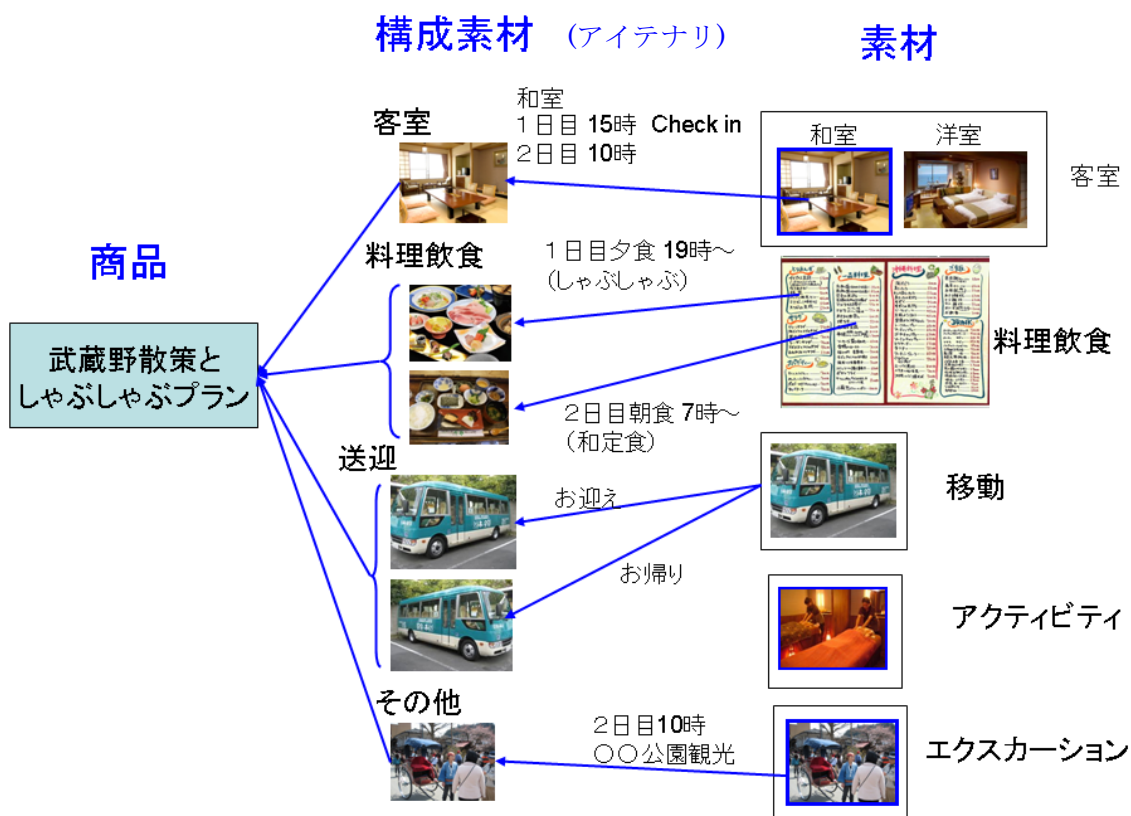
図9

- 宿泊施設の情報が JTREC サーバーに登録されている場合
 - ・ 登録画面の「JTREC から施設情報取得」(紫矢印)ボタンをクリックすると、ログイン画面が表示される。
 - ・ ログインに成功すると、施設情報を JTREC サーバーからデータを取得し、表示する。
 - ・ 修正が必要な箇所があれば、適宜修正して最後に「施設情報登録」(RE ボタン)をクリックして、修正を登録する。(ただし、元になった JTREC サーバーのデータは修正されない)
- 宿泊施設情報が JTREC サーバーに登録されていない場合
上記の操作は出来ないので、各項目を入力し、最後に「施設情報登録」(RE ボタン)をクリックして登録する。
- この施設で使用するデフォルトの通貨単位を指定する
商品ごとにこれとは異なる通貨単位を指定することができる

3. 2 素材・構成素材・商品の関係

(1) 素材

商品のもとになる、客室、料理飲食、浴場、移動(送迎)、エンターテイメント、アクティビティ、エクスカーション、会議室・催事宴会場、その他を登録する。例えば、個々の客室を登録してもよいし、同じような設備の客室をグループ化し、「和洋室6畳・オーシャンビュー」といった形で登録してもよい。料理飲食では、夕食用しゃぶしゃぶ料理、朝食用和定食といったような単位が素材になる。



(2) 構成素材 (アイテナリ)

素材を組み合わせて、日程を付加したものを客室、料理飲食、送迎、その他に分けて登録する。料理飲食では、「1日目の夕食がしゃぶしゃぶで、2日目の朝食が和定食」といったくくりで構成素材として登録する。

(3) 商品

上記で登録した構成素材を組み合わせて、商品を造成し、その商品に対して、顧客区分別、シーズン別々に料金を指定する。

3. 3 素材の登録

商品のもとなる素材を、「客室、料理飲食、浴場、移動手段、エンターテイメント、アクティビティ、エクスカーション、会議室、催事宴会場、その他」に分けて登録する。

- (1) 選択画面で「素材」をクリックし、素材登録画面(図 10)を表示する。
- (2) 素材登録画面で「素材種別」(紫矢印)を選択する。すると、表示画面にも選択した素材種別の一覧表が表示される。

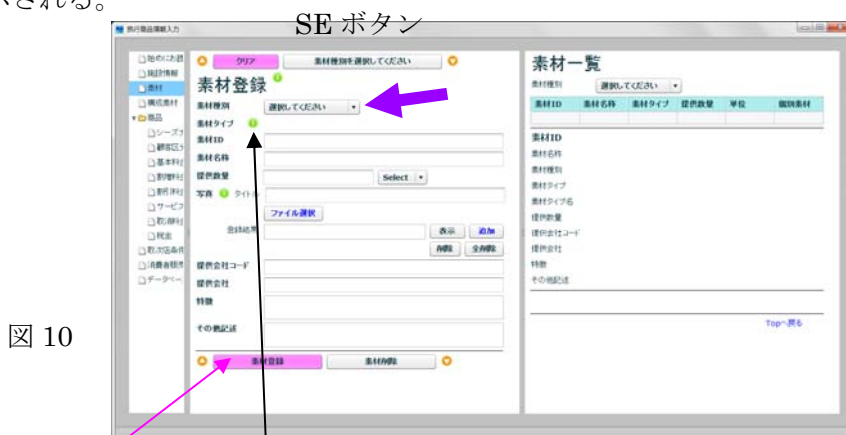


図 10

3. 3. 1 新規の素材を作成する場合

- 素材タイプは、素材種別を指定した後、「HP ボタン」をクリックすると例が表示される。
- 最後に「**素材登録**」をクリックして登録する。

3. 3. 2 入力済みの素材の内容を変更する場合

- 表示画面の素材一覧から、選択したい素材の行をクリックする。すると選択した素材の ID が登録画面の「SE ボタン」に表示される。
(素材一覧の行の「表示」ボタンをクリックすると、表示画面にもその素材のデータが表示される)
- 登録画面の「SE ボタン」をクリックすると、その素材のデータが登録画面に表示されるので、変更したい箇所を修正する。
- 最後に「**素材登録**」をクリックして登録する。

3. 3. 3 入力済みの素材を変更して、新たに素材を生成する場合

- 上記で、素材 ID を変更すれば新規の素材として登録される。

3. 3. 4 登録済みの素材の登録を抹消したい場合

- 表示画面の素材一覧から、抹消したい素材をクリックすると、登録画面の「SE ボタン」にその ID が表示される。
- 登録画面の「SE ボタン」をクリックし、登録画面にその素材を表示する。
- 登録画面の「**素材削除**」をクリックする (すでに構成素材で使用されていると、削除できない旨の警告が出る)

3. 4 構成素材の登録

素材を組み合わせたアイテナリを「客室、料理飲食、送迎、その他」に分けて作成し、商品を構成するための構成素材として登録する。

3. 4. 1 素材を組み合わせて、商品を構成する構成素材を新規に作成する場合


- 登録画面で「構成素材」をクリックし、構成素材登録画面(図 11)を表示する。
- 構成素材登録画面で「構成素材種別」(紫矢印)を選択する。
- 図 11 の  をクリックして、表示画面を素材一覧に切り替える。



図 11

- 使用する素材を、素材一覧からドラッグ&ドロップし(図 12 参照)、その後、利用日次、開始時刻、終了時刻、提供場所をキーボードから入力する。



図 12

- 最後に「構成素材登録」をクリックして登録する。
- 間違った素材をドロップした場合は、削除したいアイテナリの行をクリックして選択し、「削除」ボタンをクリックする。

3. 4. 2 入力済みの構成素材の内容を変更する場合

- ・ 表示画面の構成素材一覧から、選択したい**構成素材**の行をクリックする。すると選択した構成素材の ID が登録画面の「SE ボタン」に表示される。
- ・ その「SE ボタン」をクリックすると、その構成素材のデータが登録画面に表示されるので、変更したい箇所を修正する。
- ・ 最後に「**構成素材登録**」をクリックして登録する。

3. 4. 3 入力済みの構成素材を変更して、新たに構成素材を生成する場合

- ・ 上記で、構成素材 ID を変更すれば新規の構成素材として登録される。

3. 4. 4 登録済みの構成素材の登録を抹消したい場合

- ・ 表示画面の構成素材一覧から、抹消したい**構成素材**の行をクリックする。すると選択した構成素材の ID が登録画面の「SE ボタン」に表示される。
- ・ その「SE ボタン」をクリックすると、その構成素材のデータが登録画面に表示されるので、「**構成素材削除**」をクリックする。(すでに、商品の構成素材として使用されている場合は、削除できない旨の警告が出る)

3. 5 商品の造成


3. 5. 1 新規に商品を造成する場合

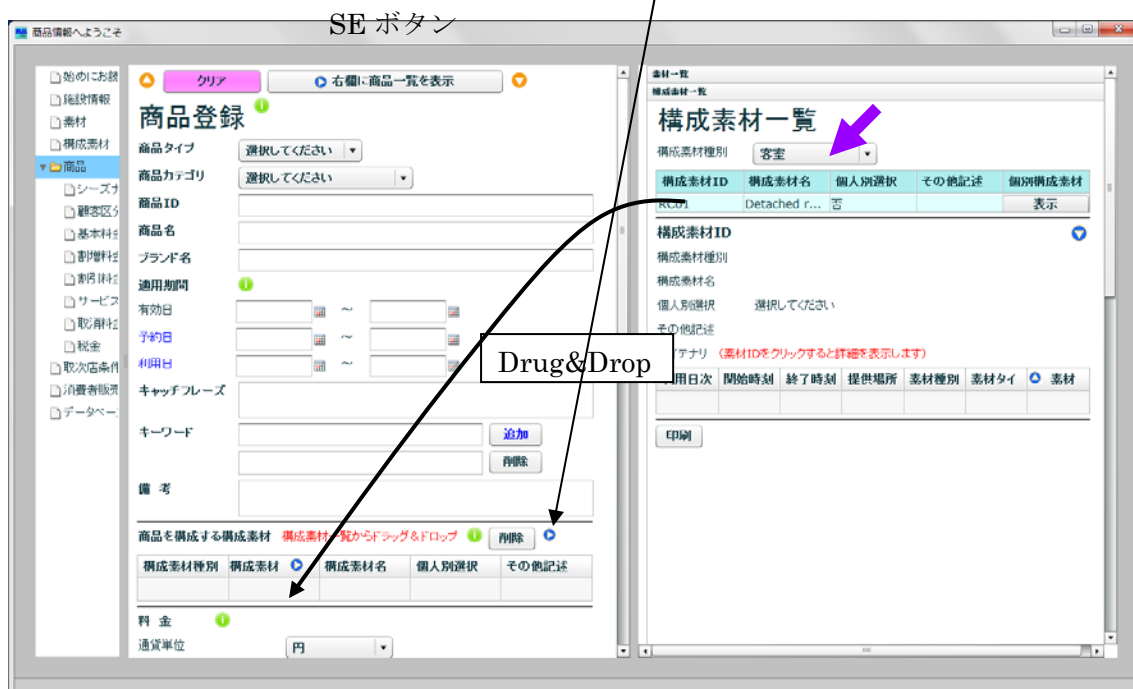
登録されている構成素材を組み合わせて、商品を造成し、登録する。

- (1) 選択画面で「商品」をクリックし、商品登録と商品一覧を表示する。
- (2) 登録画面で、商品タイプから備考までの各データを入力する。
 - ・ 予約日、利用日の青ラベルをクリックすると、有効日と同じ日付が入力される。
 - ・ カレンダーの操作を図 13 に示す。



- (3) 構成素材を次により指定する

- ・ 表示画面を構成素材一覧に変更する (図 14 の  をクリックする)
- ・ 構成素材種別を選択し (紫矢印)、表示された構成素材一覧表から、構成素材を登録画面の「商品を構成する構成素材」の表へドラッグ&ドロップする。



(4) 必要があれば通貨単位を修正する

施設情報で指定した通貨単位によらない料金を設定する場合は、通貨単位を変更する

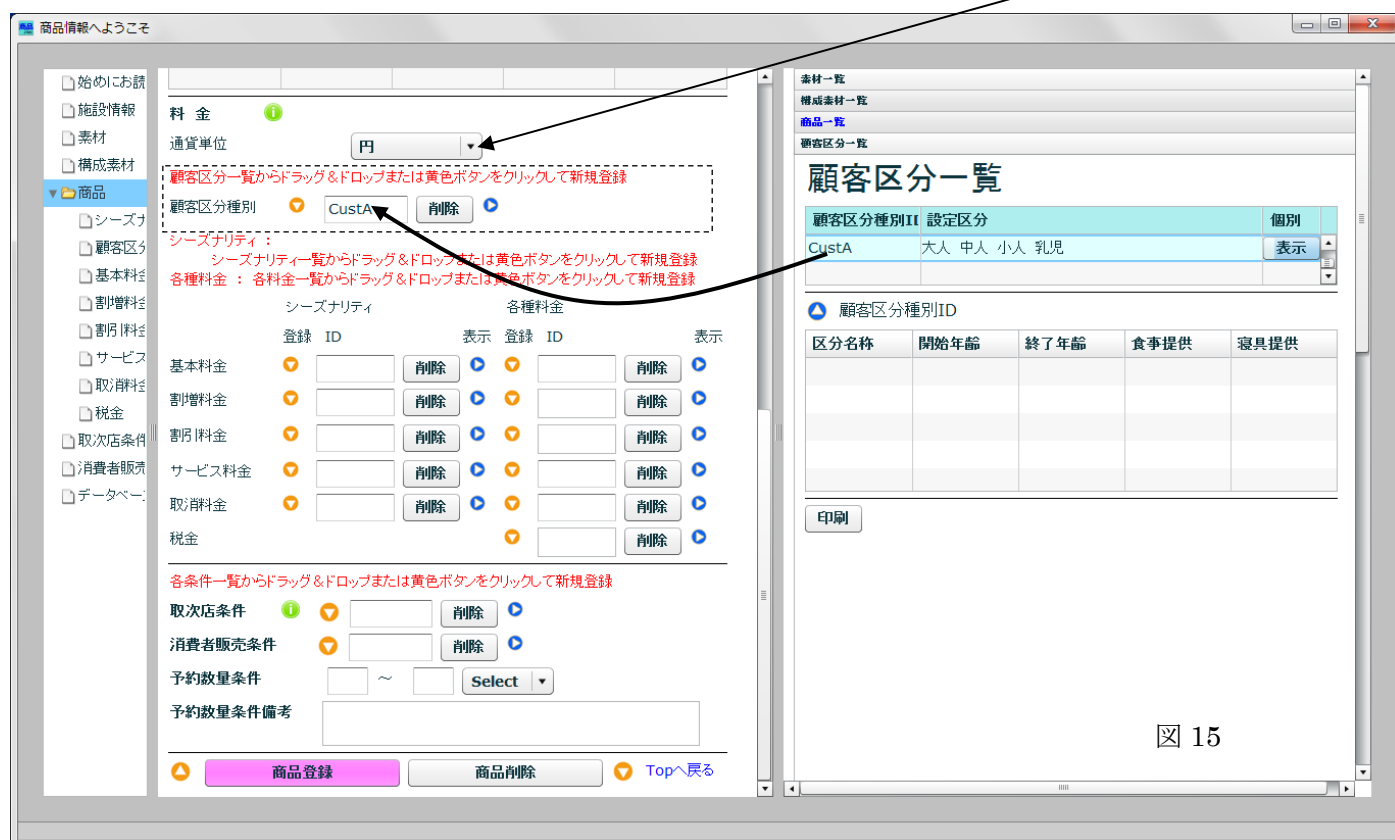




図 15

(5) この商品に適用する顧客区分種別を指定する。

- 全ての料金が顧客区分によらない場合
以下の操作を行わず、顧客区分種別は空欄にしたままでよい。
- 顧客区分種別が作成されていない場合
図 15 点線枠の  をクリックし、顧客区分登録画面に移り、顧客区分を登録する。(登録方法は、3.7 参照) 登録が済んで商品登録に戻ると、登録した顧客区分種別が、商品登録画面の顧客区分種別として指定されている。
- 顧客区分種別がすでにある場合
図 15 点線枠の  をクリックして、表示画面に顧客区分一覧を表示し、指定したい顧客区分種別を登録画面の「顧客区分種別」の Box へドラッグ&ドロップする。


(6) 基本料金を指定する

次の 2 ステップにより、この商品の基本料金を指定する。


① 基本料金のシーズンナリティを指定する

シーズンナリティを指定しない場合は、以下の操作は行わない

- ・ シーズンナリティを新たに作成する場合

図 16 点線枠の  をクリックし、シーズンナリティ登録画面に移り、シーズンナリティを登録する。(登録方法は、3.9 参照) 登録が済んで商品登録に戻ると、登録したシーズンナリティの ID が、商品登録画面のシーズンナリティ ID として指定されている。

- ・ 既存のシーズンナリティを使用する場合

- i 図 16 点線枠の  をクリックし、表示画面にシーズンナリティを表示する。
- ii 表示画面のシーズンナリティー一覧から、この基本料金に適用するシーズンナリティを基本料金のシーズンナリティ ID の Box にドラッグ&ドロップする。



商品情報へようこそ

料金 

通貨単位 円



顧客区分一覧からドラッグ&ドロップまたは黄色ボタンをクリックして新規登録

顧客区分種別  CustA  削除

シーズンナリティ :

シーズンナリティー一覧からドラッグ&ドロップまたは黄色ボタンをクリックして新規登録

各種料金 : 各料金一覧からドラッグ&ドロップまたは黄色ボタンをクリックして新規登録

シーズンナリティ		各種料金	
登録 ID	表示	登録 ID	表示
基本料金 	S01  削除 		 削除 
割増料金 			 削除 
割引料金 			 削除 
サービス料金 			 削除 
取消料金 			 削除 
税金 			 削除 

各条件一覧からドラッグ&ドロップまたは黄色ボタンをクリックして新規登録

取次店条件     削除 

消費者販売条件    削除 

予約数量条件  ~  

予約数量条件備考 

    Topへ戻る

素材一覧
構成素材一覧
商品一覧
顧客区分一覧
シーズンナリティー一覧

シーズンナリティー一覧

シーズンナリティ	予約開始日	予約終了日	料金ランク	個別
S01	2013/06/01	2013/12/31	B01 B11 S01	
S02	2013/09/01	2013/09/30	B11	

シーズンナリティID

適用期間

予約日 ~

利用日 ~

Rank	Start Date	End Date	Day of the week
------	------------	----------	-----------------

図 16


② 基本料金を指定する

- 新規に基本料金を登録する場合

図 17 点線枠の  をクリックし、基本料金登録を行なう。(登録方法は、3.8 参照)

基本料金登録後に商品に戻ってくると、登録した基本料金の ID が、基本料金 ID にセットされている。

- すでに登録されている基本料金をこの商品にも適用する場合

図 17 点線枠の  をクリックし、表示画面に基本料金一覧を表示し、適用する基本

料金 ID を、登録画面の基本料金 ID 欄にドラッグ&ドロップする。(顧客区分とシーズンナリティ共に一致しなければ、ドラッグ&ドロップできない)



基本料金	顧客区分	シーズン	有効開始	有効終了日	詳細
P002	Custo...	Seaso...	2013/...	2013/12/31	表..
P001	Custo...	Seaso...	2013/...	2013/12/31	表..
P002a	Custo...	Seaso...	2013/...	2013/12/31	表..
Basic1	CustA	S01	2013/...	2013/12/31	表..

基本料金ID Basic1	
有効日	2013/06/01 ~ 2013/12/31
予約日	2013/06/01 ~ 2013/12/31
利用日	2013/06/01 ~ 2013/12/31
料金表示	グロス
料金携帯位	税別ケ別
計算対象となる料金	サービス料 税 取消料 コミッション
基本料金計算基準	1 人
通貨単位	円
料金ランク	B01

図 17

👉 料金に関する注意

料金を一覧表から登録画面にドラッグ&ドロップする場合、および SE ボタンに表示された料金を登録画面に読み込む場合は、商品登録画面で指定されている顧客区分種別とシーズンナリティと一致しなければドラッグ&ドロップまたは読み込むことが出来ない。

- (7) 割増料金、割引料金、サービス料金、取消料金、税金を、基本料金と同様な方法で指定する。(適用するシーズンナリティは、基本料金とは異なっても良い)
- (8) 取次店条件、消費者販売条件を指定する場合も同様に、それぞれの一覧画面から指定したい ID をドラッグ&ドロップする。
- (9) 予約数量条件とその備考欄を記入する
- (10) 最下段の「商品登録」をクリックして、データベースに登録する。

3. 5. 2 登録済みの商品の内容を変更する場合

または登録済みの商品の内容を一部変更して新規商品を作成する場合

- (1) 登録画面最上段の「SE ボタン」をクリックし、表示画面に商品一覧を表示する。
- (2) 表示画面の商品一覧から、元になる商品の行をクリックする。
- (3) 再度、登録画面最上段の「SE ボタン」をクリックし、登録画面にその商品を表示する。
- (4) 変更箇所を修正する。
- (5) 同じ商品 ID で登録すれば、登録済みの商品が変更され、商品 ID を変更すれば、新規商品になる。
- (6) 最後に、「商品登録」をクリックして、データベースに登録する。

3. 5. 3 登録済みの商品の登録を抹消したい場合

- (1) 表示画面の商品一覧から、抹消したい商品の行をクリックする。すると選択した商品の ID が登録画面の「SE ボタン」に表示される。
- (2) その「SE ボタン」をクリックすると、その商品のデータが登録画面に表示されるので、最下段の「商品削除」をクリックする。

3. 6 シーズナリティの登録

3. 6. 1 新規にシーズンナリティを登録する場合

(1) 料金ランクと期間の登録

図 18 の部分を繰り返し使用して、料金ランクとその適用期間を登録する。

- ・ 料金ランクは、B、S、Pを選択し、その後ろに文字列を付ける。(例：B92)
- ・ 曜日指定をクリックしたら、その下の適用曜日を選択する。(複数個指定可)
- ・ 指定期間と詳細指定を入力したら、「料金ランク登録」をクリックする。
(この段階の登録は、データベースには記憶されない)

料金ランク登録

図 18

- ・ 登録結果は、登録結果欄と登録順序欄に表示される
- ・ 特定の1日を指定する場合は、カレンダー上で特定の日をクリックするとその日付が指定期間に入るので、そのまま「料金ランク登録」をクリックする。
- ・ すでに料金ランクが指定してある日付に、上書きして別の料金ランクを割り当てる事が出来る。この場合、後から指定した料金ランクになる。
- ・ 登録順序の下の「最後の登録を取り消す」(図 19 青矢印)をクリックすると、登録順序に記載されている最上段の登録(最後に指定した登録)を取り消す事が出来る。(途中の登録を取り消すことは出来ない)

- (2) すべての料金ランクの登録が終わったら、図 19 最下段の「シーズンナリティ登録」をクリックし、データベースに登録する。

シーズンナリティID	適用区分	適用開始日	適用終了日	料金ランク	個別
001	利用日	2011/03/01	2011/03/31	B11 B12 B13	表示
002	利用日	2011/03/01	2011/03/31	B91 B92	表示

登録結果

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5		
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

登録順序

- B13 : 2011/03/20 特定日
- B13 : 2011/03/01~2011/03/31 金 土
- B12 : 2011/03/01~2011/03/31 木
- B11 : 2011/03/01~2011/03/31 日 月 火 水

最後の登録を取り消す

シーズンナリティ登録

図 19

3.6.2 登録済みのシーズンナリティの内容を変更する場合 または登録済みのシーズンナリティの内容を一部変更し新規シーズンナリティを作成する場合

- (1) 表示画面のシーズンナリティ一覧から、元になるシーズンナリティの行をクリックする。
- (2) 登録画面最上段の「SE ボタン」をクリックし、登録画面にそのシーズンナリティを表示する。
- (3) 修正は、次の2通りの方法のいずれかで行なう。
 - ・ 登録順序最上段に表示されている料金ランクを削除する。
 - ・ 新たに料金ランクを追加する（既存の日付を上書きすることが出来る）上記以外の修正（例えば、既登録の料金ランクの日付や曜日の修正）は出来ない。
- (4) 最後に、最下段の「**シーズンナリティ登録**」をクリックして、データベースに登録する。（同じシーズンナリティ ID で登録をすれば、登録済みのシーズンナリティが変更され、シーズンナリティ ID を変更すれば、新規シーズンナリティになる）

3.6.3 登録済みのシーズンナリティの登録を抹消したい場合

- (1) 表示画面のシーズンナリティ一覧から、抹消したいシーズンナリティの行をクリックする。すると選択したシーズンナリティの ID が登録画面の「SE ボタン」に表示される。
- (2) その「SE ボタン」をクリックすると、そのシーズンナリティのデータが登録画面に表示されるので、「**シーズンナリティ削除**」をクリックする。
- (3) 確認画面が出る。（すでにデータベースに登録されている商品で使われているシーズンナリティは削除できない）

(注) シーズンナリティのカレンダーの操作

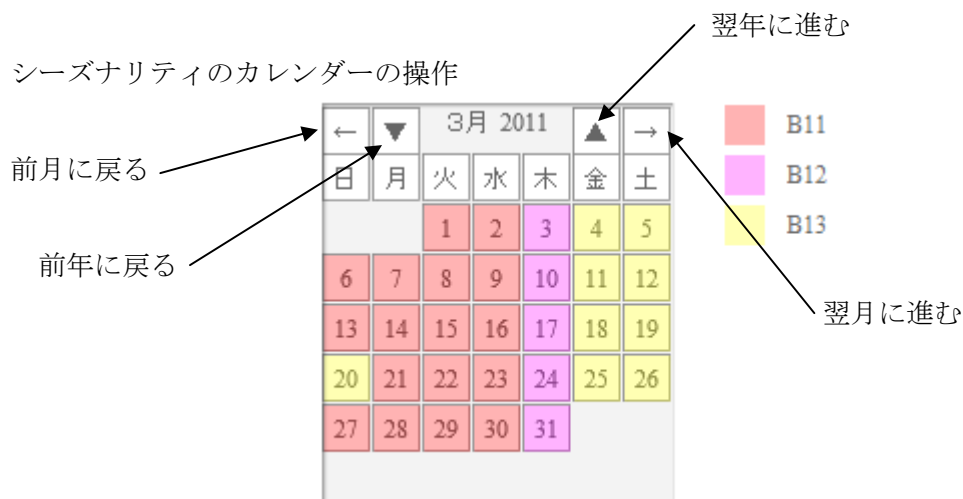


図 20

3. 7 顧客区分種別の登録

3. 7. 1 新規に顧客区分種別を登録する場合

- (1) 登録する顧客区分の選択 Box をクリックし、チェックを入れる。
- (2) チェックを入れた行の、食事提供の列でクリックすると、プルダウン・リストが表示されるので、提供する食事を選択する。
- (3) 最後に「顧客区分種別登録」をクリックし、データベースに登録する。

3. 7. 2 登録済みの顧客区分種別の内容を変更する場合 または登録済みの顧客区分種別の内容を一部変更して新規シーズナリティを作成する場合

- (1) 表示画面の顧客区分一覧から、元になる顧客区分種別の行をクリックする。
- (2) 登録画面最上段の「SE ボタン」をクリックし、登録画面にその顧客区分種別を表示する。
- (3) 変更箇所を修正する。
- (4) 最後に、最下段の「顧客区分種別登録」をクリックして、データベースに登録する。

(同じ顧客区分種別 ID で登録すれば、登録済みの顧客区分種別が変更され、顧客区分種別 ID を変更すれば、新規の顧客区分種別になる。)



商品の顧客区分種別欄が空欄ならば、登録した顧客区分種別が商品の顧客区分種別欄に反映される。しかし、すでに商品の顧客区分種別が指定されている場合は、データベースには登録されるが、商品の顧客区分種別欄には反映されない。

3. 7. 3 登録済みの顧客区分種別の登録を抹消したい場合

- (1) 表示画面の顧客区分一覧から、抹消したい顧客区分種別の行をクリックする。すると選択した顧客区分種別の ID が登録画面の「SE ボタン」に表示される。
- (2) その「SE ボタン」をクリックすると、その顧客区分種別のデータが登録画面に表示されるので、「顧客区分種別削除」をクリックする。
- (3) 確認画面が出る。(すでにデータベースに登録されている商品で使われている顧客区分種別は削除できない)

3. 8 基本料金の登録

基本料金は、顧客区分種別を指定しなければ顧客区分によらない料金設定が、シーズンリティを指定しなければシーズンリティによらない料金設定が出来る。

3. 8. 1 新規に基本料金を入力する場合

- (1) 基本料金 ID から料金形態までを入力または適切なものを選択する。(図 2 3 参照)
- (2) サービス料金対象、税対象、取消料対象、コミッション対象の項目は、それぞれの料金を計算する際に、基本料金を計算対象とする場合にチェックを入れる。
- (3) 基本料金計算基準の項目は、基本料金の計算が、何人あたりか、何室あたりか、何時間あたりか、等を指定する。
- (4) 料金ランクを指定して、顧客区分別・ブラケット別に下表に入力し、入力が終わったら「料金ランク別・基本料金登録」ボタンをクリックして登録する。
 - ・ 料金を設定しない場合は、空欄で示す
 - ・ 無料の場合は、0 を入力する
 - ・ 顧客区分のみによる(ブラケット別ではない)料金設定の場合には、区分なしの列のみに記入する。
 - ・ 顧客区分別ではない場合には、区分なしの行のみに記入する。

	1名	2名	3名	4名	5名	6名	7名	区分なし
大人		25000	24000	23000				
中人		24000	23000	22000				
小人		17000	16000	15000				
乳児		2000	2000	2000				
シニア		24000	23000	22000				
区分なし								

顧客区分別でもブラケット別でもない均一料金の場合


図 22

- ・ この登録は、データベースへの書き込みは行なわない
 - ・ この登録を行なうと、入力したデータは一旦クリアされるが、料金ランクを指定するか、登録結果をクリックすると、再度表示される
- (5) (4)の操作を、すべての料金ランクについて繰り返す。



「2名からの減額」欄に金額を入力し、図 22 の3名～7名の部分をクリックすると、2名の列から、指定した金額が減額した額がその列に記入される。

(6) 特記事項がある場合

- ・すでに特記事項が登録されている場合は、図 23 の  ボタンをクリックして表示画面に特記事項一覧を表示し、指定する特記事項の行を登録画面にドラッグ&ドロップする。

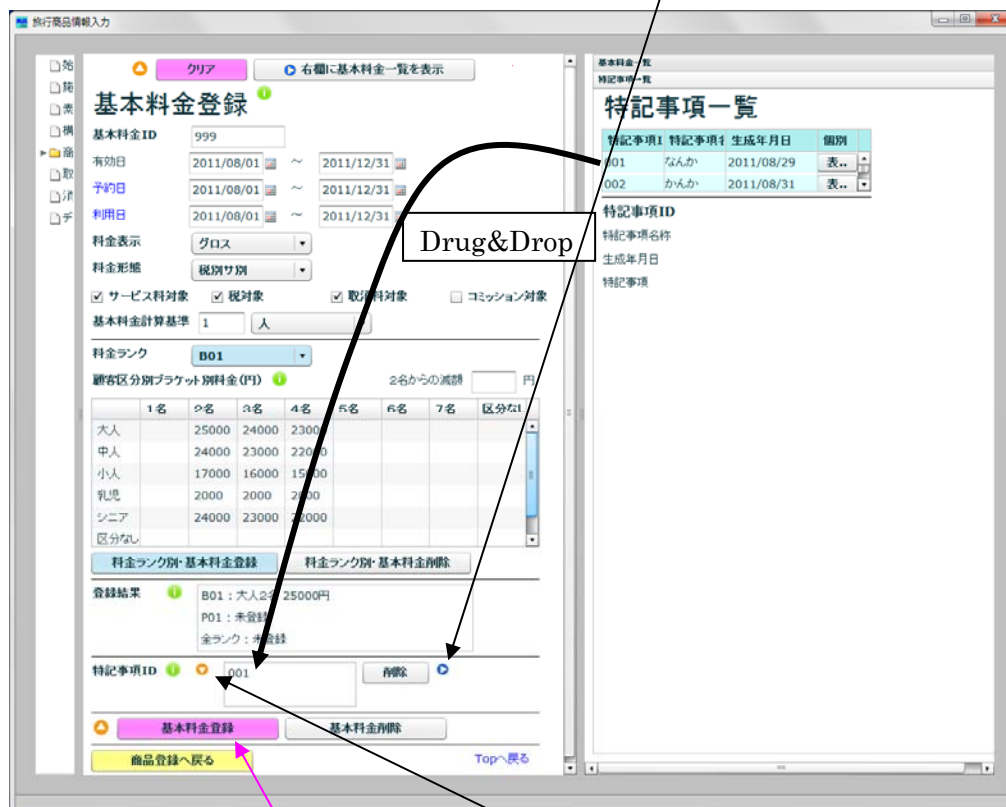



図 23

- ・ 特記事項を登録していない場合は、図 23 の  ボタンをクリックし、登録画面を特記事項登録にして、特記事項を登録する。登録方法は、3.13 参照。
- (7) 最後に、最下段の「基本料金登録」をクリックし、データベースに登録する。
- (8) 登録画面を「商品登録」に戻すと、上記で登録した基本料金 ID が記入されている。

3. 8. 2 登録済みの基本料金の内容を変更する場合 または登録済みの基本料金の内容を一部変更して新規基本料金を作成する場合

- (1) 表示画面の基本料金一覧から、元になる基本料金の行をクリックする。
- (2) 登録画面の「SE ボタン」をクリックし、登録画面にその基本料金を表示する。
- (3) 変更箇所を修正する。
- (4) 同じ基本料金 ID で登録すれば、登録済みの基本料金が変更され、基本料金 ID を変更すれば、新規の基本料金になる。
- (5) 最後に、最下段の「基本料金登録」をクリックし、データベースに登録する。


3. 8. 3 登録済みの基本料金を抹消したい場合

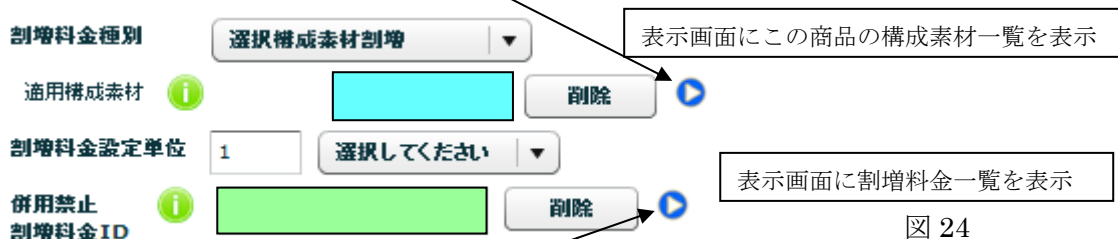
- (1) 表示画面に基本料金一覧を表示する。
- (2) 基本料金一覧から、抹消したい基本料金の行をクリックする。すると選択した基本料金の ID が登録画面の「SE ボタン」に表示される。
- (3) その「SE ボタン」をクリックすると、その基本料金のデータが登録画面に表示されるので、「基本料金削除」をクリックする。
- (4) 確認画面が出る。(商品で使われている基本料金は削除できない)


3. 9 割増料金の登録

3. 9. 1 新規に割増料金を入力する場合 (図 2 6 参照)

- (1) 割増料金種別は、プルダウン・リストから選択すると、適用条件欄が変わるのでそれによって条件を入力する。

割増料金種別で「選択構成素材割増」を選択すると、適用条件が「適用構成素材」に変わるので、図 24 の  ボタンをクリックして、表示画面を「この商品の構成素材一覧」に変更し、対象となる構成素材を図 24 青色の Box にドラッグ&ドロップする。



- (2) 併用禁止割増料金 ID は、図 24 の  ボタンをクリックして、表示画面を「割増料金一覧」にして、一覧表から併用禁止の割増料金を図 24 緑色の Box にドラッグ&ドロップする。(複数個指定可能)
- (3) 割増料金は、料金ランクを指定して、顧客区別に料金または料率のいずれかで指定する。入力が終わったら、「料金欄区別・割増料金登録」ボタンをクリックする。

料金ランク

顧客区別別割増料金

顧客区分	料金(円)	料率(%)
大人	1000	
中人	900	
小人	500	
乳児	0	
シニア	900	
区分なし		

登録結果

B91 : 大人 1000円
B92 : 大人 1200円
全ランク : 未登録

図 25

- (4) 上記の操作をすべての料金ランクについて完了したら、最下段の「割増料金登録」(RE ボタン)をクリックして、データベースに登録する。
- (5) 登録画面を「商品登録」に戻すと、上記で登録した割増料金 ID が記入されている。

3. 9. 2 登録済みの割増料金の内容を変更する場合 または登録済みの割増料金の内容を一部変更して新規割増料金を作成する場合

- (1) 表示画面の割増料金一覧から、元になる割増料金の行をクリックする。
- (2) 登録画面の「SE ボタン」をクリックし、登録画面にその割増料金を表示する。
- (3) 変更箇所を修正し、「料金欄区別・割増料金登録」ボタンをクリックする。
- (4) 最後に、最下段の「割増料金登録」をクリックし、データベースに登録する。
(同じ割増料金 ID で登録すれば、登録済みの割増料金が変更され、割増料金 ID を変更すれば、新規の割増料金になる)

3. 9. 3 登録済みの割増料金を抹消したい場合

- (1) 表示画面に割増料金一覧を表示する。
- (2) 割増料金一覧から、抹消したい割増料金の行をクリックする。すると選択した割増料金の ID が登録画面の「SE ボタン」に表示される。
- (3) その「SE ボタン」をクリックすると、その割増料金のデータが登録画面に表示されるので、「割増料金削除」をクリックする。
- (4) 確認画面が出る。(商品で使われている割増料金は削除できない)

3. 1 0 割引料金、サービス料金の登録

登録方法は、割増料金に準ずる。

3. 1 1 取消料金の登録

取消料金は、取消日別、顧客区分別の料金または料率を入力する。

取消日 利用開始日の前々日以前

料金ランク B91

顧客区分別取消料金

顧客区分	料金(円)	料率(%)
大人		
中人		
小人		
乳児		
シニア		
区分なし		20

登録結果

- 前々日 B91 : 未登録
- 前々日 B92 : 未登録
- 前々日 全ランク : 未登録
- 前日 B91 : 未登録
- 前日 B92 : 未登録
- 前日 全ランク : 未登録
- 当日 B91 : 未登録
- 当日 B92 : 未登録
- 当日 全ランク : 未登録
- 翌日 B91 : 未登録
- 翌日 B92 : 未登録
- 翌日 全ランク : 未登録

この部分を選択すると、その詳細が上表に表示される

図 27

すべての入力がすんだら、最下段の「取消料金登録」をクリックしてデータベースに登録する。

3. 1 2 税金の登録

税金はシーズナリティによらないので、顧客区分別の料金または料率を入力して、「税金登録」(RE ボタン) をクリックする。

図 28

3. 1.3 特記事項登録

特記事項 ID、特記事項名称、生成年月日、特記事項を入力し、「特記事項登録」をクリックする。遷移元の特記事項 Box に登録した ID が指定される。



3. 1 4 料金に関する補足事項

(1) **すでに登録してある料金**（基本料金、割増料金、割引料金、サービス料金、取消料金、税金）を修正したい場合

商品登録画面で商品を指定しないで（指定している場合はクリアし）、料金登録画面を表示し、修正したい料金を読み込んで修正することが出来る。表示した料金を削除することも出来るが、その料金が商品で指定されている場合は、削除することは出来ない。

(2) **商品とは無関係に料金を作成したい場合**

商品登録画面で「商品 ID」を空欄にして、顧客区分種別とシーズナリティを指定してから料金登録画面を表示し、料金を作成・登録する。

3. 15 XML の生成

商品の造りが終わったら、その結果を CEFACT 標準の XML として出力することが出来る。現段階では、使用しているパソコンのデスクトップに出力する。(サーバーへのアップロードは、別途考えることにする)

- (1) 選択画面で「商品」をクリックし、表示画面に商品一覧を表示する。
- (2) 表示画面で、XML 出力をしたい商品の「表示」ボタンをクリックし、表示画面にその商品を表示する。

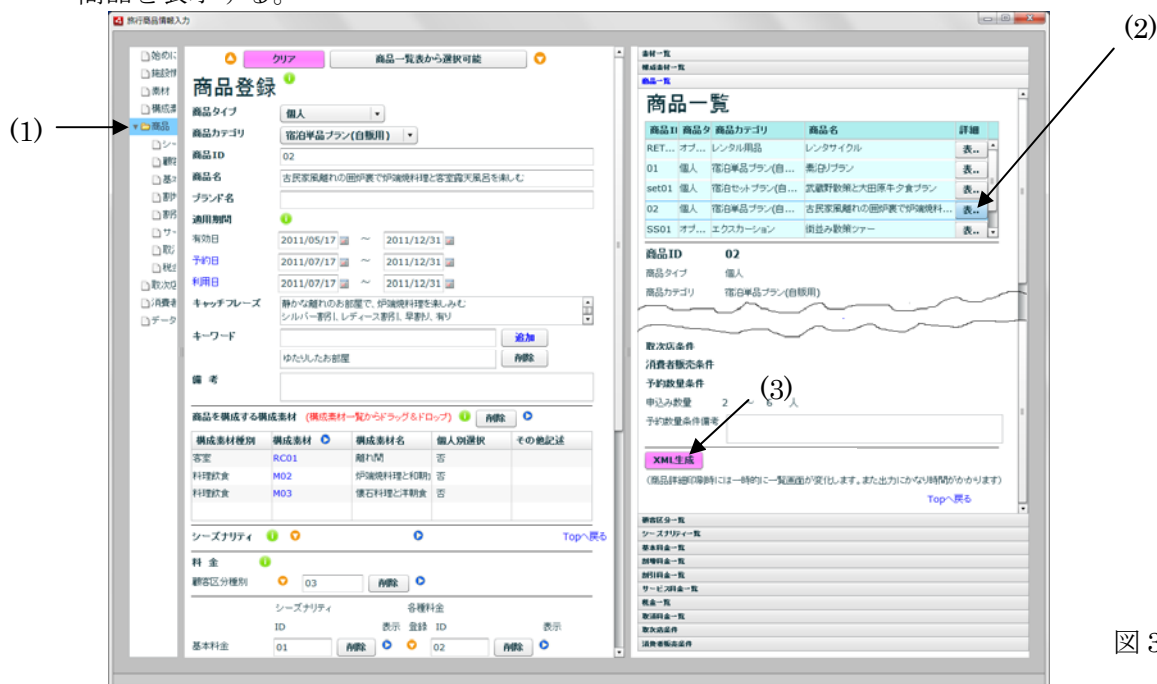


図 30

- (3) 表示画面の最下段の「XML 生成」ボタンをクリックすると、デスクトップに「商品コード.xml」ファイルが生成される。



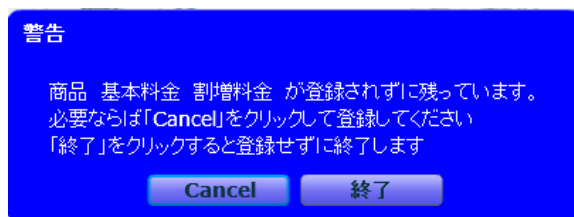
生成された XML の詳細は、下記を参照のこと

<http://www.jtrec.org/iida/productXML.pdf>

3. 16 処理の終了

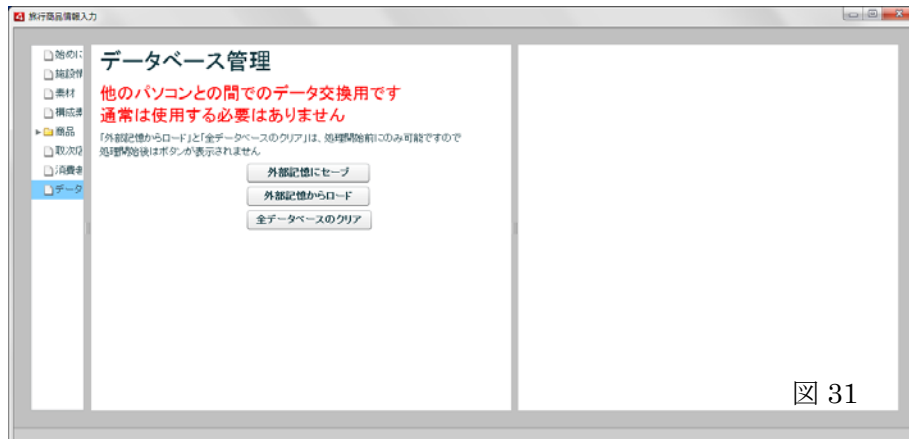
どの画面からでも、右上のクローズボタンをクリックすることにより処理を終了することが出来る。その際、登録画面にデータが残っていると下図のような警告が出る。

登録忘れの場合は「Cancel」をクリックして必要データを登録してください。



4. データベース管理

本プログラムを起動した直後に、選択画面で「データベース管理」をクリックすると、図 31 の画面が表示される。この画面から、データベースに関する次の操作が可能である。ただし、他のパソコンとの間でのデータ交換用であるので、通常は使用する必要はない。



(1) 外部記憶にセーブ

このボタンをクリックすると、現状でのデータベースを、任意のファイル名で外部記憶装置に書き出すことが出来る。

(2) 外部記憶からロード

上とは逆に、他のパソコンでセーブしたデータベースを、使用中のパソコンにロードする。（素材の画像は、マイドキュメント/_JTREC フォルダにロードされる）

(3) 全データベースのクリア

このパソコンのデータベースをクリアし、何も登録していない状態に初期化する。

なお、起動直後ではなく、何らかの操作を行なった後に、選択画面で「データベース管理」をクリックすると、(1) の操作のみが可能になる。

